

地方創生推進交付金活用事業の実績について

対象年度:令和3年度

1 事業の概要及び実績

事業名	事業費・内訳		事業の内容及び実績
地方創生広域連携事業	予算額	939,000円	1 交付金活用事業の内容 ①名称 きみつ暮らし&サイクルツアー ②日時 令和4年3月19日(土) 9:30~15:45 ③場所 久留里地域(集合・解散:久留里観光交流センター前) ④参加者 16歳以上で本市への移住に興味のある方 ⑤参加費 4,000円(昼食、体験料、レンタサイクル代込み) ※自転車持参の場合、3,000円 ⑥内容 自然が豊かで温泉や名水も楽しめる君津の里山をサイクリングしながら巡り、移住者との交流を通じて「きみつ暮らし」のイメージを広げる体験ツアー。 2 実績 ・全長約9kmの初心者向けサイクリングコースを設定し、8名が参加した。 ・集合場所の久留里観光交流センターでは水汲み広場で久留里の水を汲んでいただき、君津森林体験交流センターでは味噌づくり体験、カフェにてゲストトークを実施した。 ・アンケートでは、参加者全員から「満足した」「大変満足した」との回答があった。 ・「君津の魅力が伝わる内容であった」「地元で活躍する人々の暮らしに触れることができた」など、本市への移住を検討する上で参考になったとの声があった。
	決算額	499,400円	
	うち交付金対象経費	499,400円	
	財源内訳		
	交付金	249,700円	
	一般財源等	249,700円	
	事業目的		
近隣市等と連携しながら、本市の魅力を広く発信し、地方創生を推進する。			
事業名	事業費・内訳		事業の内容及び実績
定住促進事業	予算額	1,735,000円	1 交付金活用事業の内容 ①名称 君津市住まいるきみつ移住者助成金 ②対象者 令和3年4月1日以降に転入した方で、次の1から4までのすべての要件に該当する方 ・県外から本市に転入し、転入時における年齢が40歳未満の方 ・転入日から起算して、過去6か月以内に本市に居住したことのない方 ・転入前も転入後も、県外に勤務している方又はフリーランスの個人事業主で県外の企業等から継続して仕事を受注している方 ・助成金の交付を申請した日から、継続して1年以上本市に定住し、かつ、県外に勤務する意思を有する方 ③助成対象及び助成金額 ・引っ越しに必要な費用 助成率1/2、上限額5万円 ・自宅へのテレワーク導入に必要な費用 助成率1/2、上限額5万円 ④その他 臨海部の工業地帯や区画整理された市街地を有する君津地区を除き、広大な市域の大部分は山間部となるなど条件不利地域と同じような実情だが、地方創生テレワーク交付金の補助要件外のため推進交付金を活用するもの。 2 その他事業(一般財源等)の内容 ・「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2021autumn」へのブース出展 ・君津市移住・定住支援ウェブサイト運営 3 実績 ・移住者助成金は3名から申請があり、移住に係る経費を補助することで、本市への移住促進につなげることができた。 ・JOINフェアでは9組から相談を受け、イベント終了後も市の各種イベント情報を提供するなど移住促進に努めた。
	決算額	510,837円	
	うち交付金対象経費	206,000円	
	財源内訳		
	交付金	103,000円	
	一般財源等	407,837円	
	事業目的		
本市の人口減少に歯止めをかけるため、市内への移住・定住の促進を図る。			

2 事業の分析

重要業績評価指標 (KPI)	指標	現状値(令和2年度)	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
		サイクルツーリズムを通じた取組みへの参加者数(人)	24	6

成果・課題等 (令和3年度)	・本市がこれまで推進してきたサイクルツーリズムの取組を活かし、サイクルと移住を掛け合わせた本市での暮らしを体験できるイベントを実施することができた。	達成度	A.目標を達成した。 B.概ね目標を達成した。 C.目標を半分程度達成した。 D.目標をあまり達成できなかった。 E.目標を達成できなかった。
		C	

3 今後の方向性

- ・民間企業と連携したサイクルイベントの実施等、地域一丸となってサイクルツーリズムを推進することで、交流人口や関係人口の増加を図り、地域活性化につなげる。
- ・令和4年度より新たに導入する「君津市地域おこし協力隊」により、移住定住の促進に向けた活動や、地域資源を活用しながら地域の活性化を促進するための活動、地域の課題を解決するための活動を行う。
- ・移住定住イベントの出展時等に、チラシを配布するなど、様々なチャネルを活用し、制度のさらなる周知を図るとともに、移住・定住に向けた積極的な情報発信などを行う。